

I 出題の趣旨

- (1) 社会の諸問題に目を向け、そこから課題を見つけ出すことができるかをみる。その際、今までに学習した知識を用いて、探究活動につなげられるかをみる。
- (2) 近年の課題としてクローズアップされている自然災害について、我が国における課題を見つけ出す力をみる。その際、他国との比較や資料やデータ、英文から情報を正確に読み取り、解決に導くためのヒントを得て、論理的な文章として総合し、表現できる力をみる。
- (3) 複数の文章や資料を通して多面的に自身の考えを、日本語または英語で述べることができるかをみる。

II 評価の観点

- 1 問1 雲のでき方を理解できているか。
問2 会話文から必要な情報を読み取ったうえで、球の体積、立体の体積比、力のつりあいなどの基礎知識を正しく活用することができるか。
問3 会話文から必要な情報を読み取り、それを科学的に正しく表現できるか。
- 2 問1 基本的な計算処理ができるか。
問2 問題文や表から必要な数値やことがらを読み取り、それを論理的に考えた上で正しく計算できるか。
問3 表のすべての数値に注意を払い、論理的に考え、要求された数値を正しく求めることができるか。
- 3 問1 大陸の河川と比較した日本の河川の特徴を適切に説明できるか。
問2 資料から必要な情報を正しく読み取り、2つの地区の避難行動の違いを比較し、適切に表現できるか。
問3 複数の資料から必要な情報を正しく読み取り、問2の2つの違いが生じる理由を論理的に述べることができるか。
- 4 問 会話文やデータの中から実際の状況を読み取ることができ、設問に合わせて字数や使用語彙の指定を踏まえながら、それを適切に表現することができるか。
- 5 問1 文脈に合うように必要な単語を選択したうえで、文法的に正しく作文することができるか。
問2 与えられた会話文の内容を正しく読み取ることができるか。
問3 今までに学習してきた知識や与えられた会話文を参考に、自分の考えを英語で正しく表現することができるか。
- 6 社会で起きているできごとに関心を持ち、自分なりの探究テーマを考えることができるか。